

2022年8月24日(水)第四水曜祈祷会

ヨハネの福音書16:1~16

「御霊の働きを信じて」

【序】 *イエスさまはここで、御霊を与えるという三回目の約束をする。

- ①御霊は、もう一人の助け主であり、真理の御霊である(14:16、17、26)。
- ②御霊は、イエスとその御業について証しをするという特別な使命を持っている(15:26)。
- ③イエスさまは御霊を、「わたしが父のもとから遣わす」「父から出る」とも表現された(15:26)。

【観察と黙想】

1. つまづくことがないため(16章1~4節)

- ①「これらのこと」(1節)とはどういうことですか(15:18~27)。
→
- ②人々はどうしてイエスさまの弟子を迫害するのですか(3節)。
→
- ③イエスさまはどうして「これらのこと」を弟子たちには話されたのですか(4節)。
→

2. 助け主がおいでになる(5~11節)

- ①弟子たちの心はどうして悲しみでいっぱいになったのですか(別離と迫害)。
→
- ②イエスさまはどうして自分が去っていくことが益になると言われたのですか(7節)。
→
- ③助け主(聖霊)は、弟子たちに何をしてくださいますか(8~11節)。
→

3. 御霊は福音の真理を示す(12~16節)

- ①助け主(聖霊)は、弟子たちに何をしてくださいますか(13節)。
→
- ②御霊は「わたしの栄光を現されます」(14節)とは、何を意味していますか。
→
- ③「しばらくすると…しばらくすると」とは、いつのことを指していますか。
→

【適用と分かち合い】

- ①私たちは今日、クリスチャンであるゆえに迫害を受けることがありますか。
- ②聖霊は今、私たちに何をしてくださっていますか。
- ③イエスさまは私たちの弱さをどのように見ておられますか。